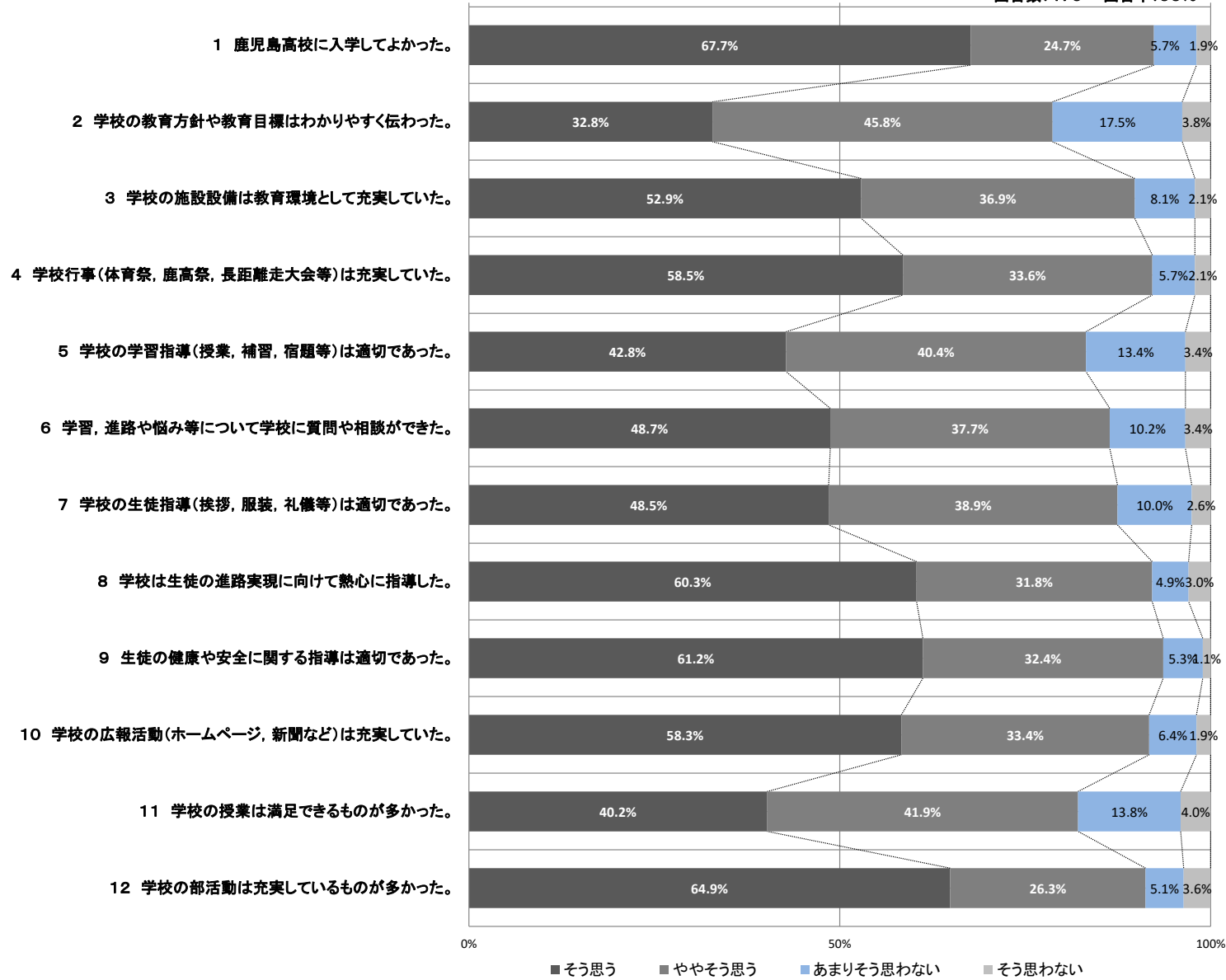


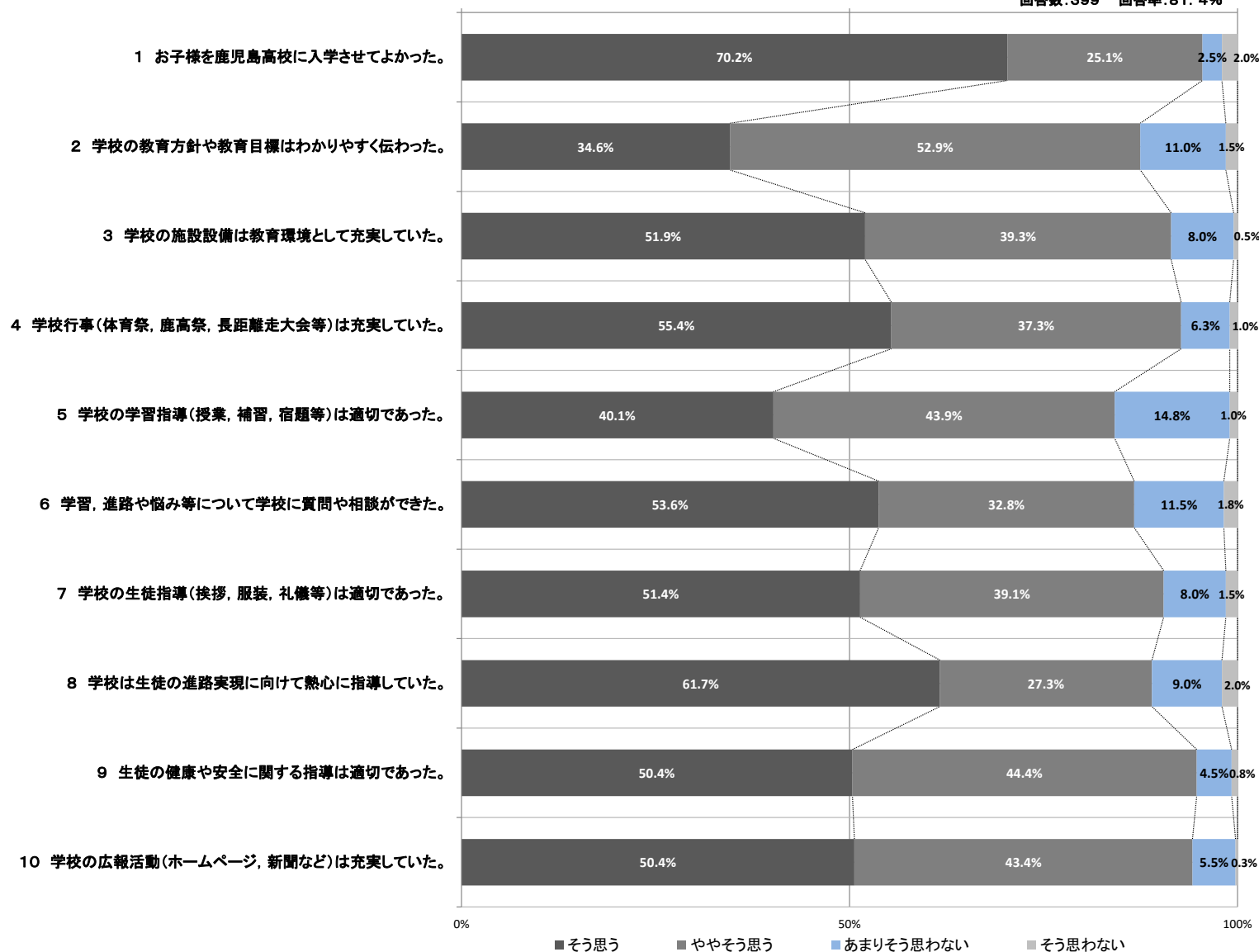
●令和元年度学校評価アンケート結果(生徒)

回答数:470 回答率:96%



●令和元年度学校評価アンケート結果(保護者)

回答数:399 回答率:81.4%



令和元年度 学校関係者評価

1 総合評価	
4.8	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業生（生徒・保護者）満足度の高さが素晴らしい（特に保護者が上回っている点）。 ○部活や同好会との両立によって、難関大学の実績をさらに上昇してください ○コロナ対応で苦慮がうかがえるが、生徒の安全第一でお願いします。
2 学校行事評価	
4.8	<ul style="list-style-type: none"> ○工夫されていることが、見てとれます。卒業式（規模縮小）も良かった。 ○生徒を主体に、体育祭・文化祭などを盛り上げているのが良かった。
3 生徒指導評価	
4.6	<ul style="list-style-type: none"> ○登下校時のマナーで気になる時がある。 ○門礼など見えて気持ちが良い。
4 要支援生指導評価	
5.0	<ul style="list-style-type: none"> ○対応の良さが他校の保護者からも耳にする。 ○生徒一人一人の思いを大切にしている様子がうかがえる。
5 進学指導評価	
4.6	<ul style="list-style-type: none"> ○難関大学への合格者増を。 ○国公立大学への合格者を頑張ってもらいたい。 ○大学入試共通テストへの移行に対応してください。
6 就職指導評価	
4.8	<ul style="list-style-type: none"> ○連続 100%を継続してください。 ○離職率などの調査も必要。
7 保健安全指導評価	
4.8	<ul style="list-style-type: none"> ○耐震対策で正門右側の柵が替わり良かった。 ○コロナ対策で大変だと思います。
8 広報活動評価	
4.8	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな仕掛けがあり好感が持てる。 ○体験入学の参加者がすごい。 ○文化活動への広報にも力を入れて良いのでは。

4段階評価 A(5点)・・・取組が良い B(4点)・・・取組がおおむね良い C(3点)・・・取組が物足りない D(2点)・・・取組が悪い

令和元年度 業務実施計画表

基本目標・基本的視点・主な具体的取組		担当課	計 画		評 価		
			スケジュール	目 標	A~D	最終(3月末) 実施結果(目標を主に)	
1 学校ブランド力の向上							
I	生徒・保護者からの満足度向上	(普通) 多様な進路に対応可能な学校 設定科目の構築	普通科	4~1月 「未来探求」実施 4~3月 校内協議(毎月1回) 1月 アンケート実施	①新企画を次年度へ1案提示 ②満足度90%以上	B	新しい企画2つ実施。生徒にも好評。 概ね良好。 概ね良好であったがさらに努力必要。
		(英数科) ①難関大学・地元国立大学合格者増 ②奨学金制度の運用改善	英数科	5~12月 校内学科会協議 12月 改善策とりまとめ	①該当生徒運用見直し検討 ②奨学金見直しの共通認識	B	①生徒の希望と満足度は概ね良好。 ②所期の目標は達成。
		(情報ビジネス) インターンシップの活性化と充実	情ビ科	7月 インターンシップ実施	5日間実施による進路意識の向上	B	7月 インターンシップ 5日間実施
		学校評価・学校生活アンケート の活用	教務	10月 1・2年生徒アンケート実施 11~12月 集計・分析・結果とりまとめ 1月 3年生徒・保護者アンケート実施 2月 集計・分析・結果とりまとめ	肯定的評価90%以上	B	一部の項目で改善の余地があるが 概ね良好
II	地域社会への貢献	ボランティア活動の推進	三弧会	通年 ペットボトルキャップ 回収作業の実施	清掃時間に三弧会役員を中心に 回収作業実施	A	掃除の時間帯に三弧会役員が輪番で2 名ずつ参加した。
			各学年学科	通年 各学年学科毎の 奉仕作業の実施	各学年学科最低1回以上の ボランティア活動への参加	D	年度末に実施を計画していた学年が、3 月3日からの休校の影響で実施できな かった。
			三弧会	11月 おはら祭への参加	参加目標50名	A	約70名が参加し、大変賑やかな踊り連 になった。
2 先進的な教育課程の編成							
I	語学力・コミュニケーション 能力の強化	カリキュラム編成	教務	4~3月 新入試制度に対応するための 編成可能な学校設定科目の 検討	情報を収集し、編成可能な学校設定科目の 検討・決定	B	11月には各教科からの案も提出され 次年度へ向けて検討事項が確認 できた
II	グローバル教育の充実	エンパワーメントプログラムの充実	教務	4~7月 エンパワーメントプログラム 事前指導 8月 プログラム実施 4~3月 国際交流への派遣	参加者のプログラム後の英語学習に対する モチベーション維持 参加目標 2名以上	A	エンパワーメントプログラムについては 事前指導およびプログラムを予定とおり 実施できた

A 良好 (計画通り(100%達成)) B 概ね良好(概ね計画通り(80%~99%))
 C 要改善(計画遅れ(60%~79%達成)) D 不可 (計画未達成(59%以下))

令和元年度 業務実施計画表

基本目標・基本的視点・主な具体的取組		担当課	計 画		評 価		
			スケジュール	目 標	A~D	最終(3月末) 実施結果(目標を主に)	
3 未来を築く進路保証							
I	次期学習指導要領や大学入試改革への対応	① 教育改革に対応するカリキュラムの原案作り ② 大学入試改革へ向けての思考力・表現力作りのための学習指導 ③ 電子黒板、タブレットなどICT機器を活用したAL型授業の展開 ④ PC、タブレットなどICT機器を活用した自学自習計画とポートフォリオ作成	進学指導	4~9月 進学指導室での原案協議 10~12月 進学指導室での原案完成	思考力・判断力・表現力育成プログラム原案作成 年度中のカリキュラム委員会への提案	B	GTECや夢ナビ参加など一部が実施できず原案は提出できたが、その後の審議課題
				4~11月 推薦・AO入試指導における指導の具体化 4~3月 一般入試合格までの具体的指導	推薦AO入試による国公立大合格者10名以上 国公立大合格者数50名以上、難関私立大学合格者60名以上	C	生徒への意識づけの時期、合格後の指導に課題あり 国公立受験レベル合格35名、難関私大合格者減少
				年間 多くの教科での取組み強化 教科に応じたAL型授業の展開	各教科で取組みを蓄積し共有 各教科でのAL型授業法の蓄積	B	短焦点PJやタブレット活用はさかん。一方で、メンテナンスの課題あり ジグソー型・グループワークによる言語活動など意識的に取り組んでいる
				4~5月 普通科・英数科学科毎のプラン作成 5月~ 生徒への自学自習啓発 5月~ ポートフォリオ作成指導	確認テスト等の定期的な配信 自主活用率50%以上 生徒による定期的な作成と担任の確認作業	B	積極的活用は一部にとどまり、次年度より立て直しの必要あり 全体としては活用できていない。次年度への課題が顕在化 年間記録作成まで至らず、次年度課題
II	進路実現に活用できる各種の資格取得	英検・商業科目特別講座などの実施 GTEC Basice英語4技能等の実施 英検・商業科目特別講座などの実施 GTEC Basice英語4技能等の実施	英語科	6月 第1回実用英語技能検定 10月 第2回実用英語技能検定 12月 GTEC Basic 1月 第3回実用英語技能検定	準1級合格1名 2級合格 40名以上 受験生半分の12月GTEC600点取得を目指す	B	2017年 準1級 0 2級 51 準2級 66 2018年 準1級 1 2級 39 準2級 81 2019年 準1級 1 2級 58 準2級 52
				6月: 珠算・電卓実務検定・簿記実務検定 7月: ビジネス文書実務検定 9月: 英語検定・情報処理検定 11月: 珠算・電卓実務・ビジネス文書実務検定 12月: 英語検定 1月: 簿記実務検定・情報処理検定 2月: 商業経済検定	全商英検2級以上35名 全商1級3種目以上7名	B	・全商英語検定2級以上合格3名 2級以上の受験者が少なかった。 ・3種目以上1級合格10名達成 検定の受験者も増加し、補習等の取り組みも強化された。 今後の日商検定受験にも弾みとなった。
4 三弧会・部活動のさらなる活性化							
I	三弧会組織の改革	体育祭・鹿高祭・クラスマッチなど生徒主体の企画運営	三弧会	9月 体育祭	生徒主体の運営・種目の精選	A	三弧会体育部が中心となり、種目を精選し、生徒主体の運営を行うことができた。
				9月 鹿高祭	生徒主体の運営・種目の精選		三弧会文化部が中心となり、内容を精選し生徒主体の運営を行うことができた。
				7・3月 クラスマッチ	生徒主体の運営・種目の精選		三弧会体育部が中心となり、種目を精選し、生徒主体の運営を行うことができた。
II	全国大会で活躍できる部活動の育成	入部率を高め、強化指定部を中心として、部活動・同好会を活性化させる。	三弧会	4月 新入生オリエンテーション	① 入部率70% ② 全国大会出場部活動目標数7。	A	2年生の三弧会役員が運営を行った。ペース配分もよく、予定時間内に終了することができた。
				7月 全国大会出場者壮行会			三弧会広報部が中心となり、打ち合わせ会を開催した。事前準備もしっかりと行い、素晴らしい壮行会になった。
				9月 体育祭での部活動紹介			ブラカードを新調し行進に臨むことができた。それぞれの部活動の特徴が表れた素晴らしい行進であった。今後は活躍の度合いに応じて行進の順番も考えたい。

A 良好 (計画通り(100%達成)) B 概ね良好(概ね計画通り(80%~99%))
C 要改善(計画遅れ(60%~79%達成)) D 不可 (計画未達成(59%以下))

令和元年度 業務実施計画表

基本目標・基本的視点・主な具体的取組		担当課	計 画		評 価	
			スケジュール	目 標	最終(3月末)	
					A~D	実施結果(目標を主に)
5 生徒募集の強化						
I	専願入学者増を目的とする募集体制の確立	中学校・学習塾訪問 企画・実施	4~3月 中学校訪問 年8回 学習塾訪問 年3回	正確な情報の収集と伝達	B	年間8回実施。関係も良好。 年間で2回しか実施できなかった。
		学校説明会 企画・実施	4~11月 4月発表資料作成 年間 約100校	魅力ある資料作成 魅力の確実な伝達と定着	A	年間93校実施。昨年より微増。 評判は良かった。
		体験入学 企画・実施	4~10月 7・8月の体験入学 10月 秋の体験入学	参加者2500人 受験率100% 参加者500人 受験率100%	A	2846人参加。アンケートも上々。 411人参加。アンケートも上々。
		広告物 企画・制作	4~3月 4月学校案内 7・11月 ZIGZAG 年間9回 GreenAge	県内で最も魅力的な学校案内の作成 最新の情報を魅力的に伝達 素早く最新の情報を伝達	A	予定通り完成。配布。評判も良い。 予定通りに発行。 予定通りに発行。
II	受験者のニーズに合わせた入試制度改革	公立高校入試問題傾向変化への対応	6~11月 各教科作問者への啓発 および本校入試問題への 反映	2019年度入試で変化した公立高校の 出題傾向も踏まえた作問	A	公立高校入試の出題傾向もふまえた 作問を行い実施することができた
6 職員の資質向上						
I	年次別研修の充実	初任者研修・経験者研修の実施	4~3月初任者研修 4~3月経験者研修	初任者における一般指導 10回 初任者における教科指導 20回 (研究授業 3回を含む) 経験者研修における研究授業 1~2回	A	コロナウイルスによる休校で研究授業 の一部を教科指導におきかえる 必要があったが予定とおりの回数 研修ができた
II	テーマ別研修の充実	アクティブラーニング型の授業研修の実施	4~3月校外研修参加	参加目標 各教科1名以上 教科を越えた研究授業	B	研修参加者に偏りがあったが 概ね良好

A 良好 (計画通り(100%達成)) B 概ね良好(概ね計画通り(80%~99%))
 C 要改善(計画遅れ(60%~79%達成)) D 不可 (計画未達成(59%以下))

令和元年度 業務実施計画表

基本目標・基本的視点・主な具体的取組		担当課	計 画		評 価	
					最終(3月末)	
			スケジュール	目 標	A~D	実施結果(目標を主に)
7 安定した財政基盤の確立						
I	健全財政の維持, 学校教育予算の拡充	収入の安定確保 補助金の獲得	通年 補助金対象事業の推進	補助金の増額	B	各種補助金について交付内定金額を消化
		校納金納入管理体制の充実	7・10・1月 滞納縮減月間の実施	3月末 滞納者ゼロ	B	3年生・1年生の滞納者ゼロ 2年生が2名残ったが4月上旬までに納入約束(計画書提出済)
		支出の削減 校舎等の計画的補修実施	7・11・1月 毀損箇所調査の定期実施 補修の集中実施	生徒の安全・快適な学校作り	A	補修箇所点検を随時実施し、破損及び汚損箇所を計画的に補修している。 補修については、業者への依頼を極力抑え、出来る限り自前で行った
		転退学者の削減における 収入機会の維持	4~3月 教育相談室を中心とした長 欠者等への対応	転退学者率 2.5%以下	B	教育相談室を中心に、要支援認定生への対応・声かけができた
		事務室				
		教務部				

- A 良好 (計画通り(100%達成)) B 概ね良好(概ね計画通り(80%~99%))
 C 要改善(計画遅れ(60%~79%達成)) D 不可 (計画未達成(59%以下))